

4月  
8日

## 満開の桜で春を満喫



4月8日(日)、「安岐ダムさくら祭り」が安岐ダムいこいの広場で開催されました。安岐ダム周辺に植えられた約3,000本の桜が満開となり、会場内に設置されたステージではカラオケや手品、抽選会などが行われ多くの花見客で賑わいました。



4月8日(日)、国東町浜崎の割石地藏尊で桜祭りが開催され、開運祈願とお花見を兼ねて多くの参拝客で賑わいました。

今年も割石地藏講の皆さんにより、参拝客にぜんざいが振舞われました。

## 農業を通して内田地区の美しい自然環境を守ります

4月  
1日

4月1日(日)、武蔵町内田地区の営農組合「龍神の郷」(穴見清敏組合長)の設立総会が同区公民館で行われました。

関係者28人が出席した総会では、「地域の自然環境を守る」「安心して暮らせる農業の基盤づくりを行う」「利益の出る農業を目指す」の3つの基本理念を確認し、農地の維持管理や農作業受託など今後の事業計画等について協議しました。



3月  
27日

## プロの技に大きな歓声



3月27日(火)、プロバレーボールチーム「大分三好ヴァイセアドラー」の安田将利選手と吉田政俊選手が熊毛改善センターを訪れ、みんなんこども広場(熊毛小学校放課後児童クラブ)の児童や、地域の小中学生バレーボールクラブのメンバーら30人と交流しました。プロ選手がスパイクの模範演技を披露する場面では、会場から大きな歓声が上がりました。

## 交通安全に力強い味方をプレゼント

4月  
12日

国東警察署と大分県交通安全協会国東支部(馬場将郎支部長)は市内の新中学1年生263人に反射タスキを贈りました。

4月12日(木)、国東警察署で行われた贈呈式では、安藤幸一副署長と馬場支部長から生徒代表の国東中学校1年の馬場海斗さんと亀井優亜さんにタスキが手渡されました。

馬場海斗さんは「中学生になって、部活や塾で帰宅が遅くなることがあります。交通ルールを守り、タスキを使って自分の身は自分で守ります」とお礼を述べました。



(左から) 安藤副署長、馬場海斗さん、馬場支部長、亀井さん、山本泰光教育長